

情報公開用文書

「 泌尿器腫瘍の遺伝情報解析に関する研究 」 へのご協力をお願い

1. 研究(調査)の目的と概略

癌では、遺伝子変異や遺伝子発現の異常を含む異常が複雑に重なっており、その発症および進展に大きな役割を果たしています。このような病態を把握するためには、数多くの遺伝子および分子を含んだ網羅的な解析が必要となります。

本研究では、泌尿器腫瘍と診断された患者の体液試料および切除・生検・剖検などにより採取された腫瘍から、DNA、RNAやタンパク質を抽出し、これらの腫瘍細胞内で、特異的に認められる遺伝子発現変化や遺伝子変異について解析を行う予定です。また、同様にタンパク質についても網羅的な解析を通じて、腫瘍に特異的な変化について明らかにしていく予定です。これらの解析から得られた情報をもとに、腫瘍発生や進展、また、それに付随する腫瘍内および生体内の変化について理解を深めることで、新たな治療法やバイオマーカーの開発につなげていくことを目的としています。

2. 研究(調査)の方法

徳島県立中央病院泌尿器科で泌尿器腫瘍と診断され手術が施行された患者様で、「泌尿器腫瘍の遺伝情報解析に関する研究」について協力をお願いした際に同意いただいた方が対象です。手術時に採取した腫瘍組織、血液、胸水、尿などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、遺伝子の構造を解析します。DNAおよびRNAを組織や患者由来がん移植モデルから得られた腫瘍および細胞株から抽出します。次世代シーケンサーやマイクロアレイを用いて、全ゲノム解析、全エクソン解析、全ゲノム関連解析など、網羅的なゲノム解析を行います。また、タンパク質も抽出し、質量分析法などのプロテオミクスの手法を用い網羅的な解析を行います。これらの方法を用いて目的とする標的候補遺伝子またはタンパク質を同定します。これらの解析から得られた情報をもとに、分子生物学的手技を用いて詳細な機能解析を行う予定です。これらの研究で得られた結果により将来研究内容の追加および変更が行われる可能性があります。調べる対象は、現在明らかになっていないものを含み、関係する可能性のある全ての遺伝子です。疾患によっては家族性の因子を含む場合があります、この場合はご家族が今までにかかった病気について説明をお願いすることもあります。収集された情報、記録および解析データは、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。また、採取した腫瘍組織、

血液、胸水、尿などの検体は徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野研究室にて凍結保存し、解析終了から5年間保存します。

3, 研究（調査）の参加施設

代表機関：徳島大学病院泌尿器科

共同研究施設：

徳島県立中央病院、亀井病院

4, 調査期間

調査期間 承認日から2030年3月31日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、泌尿器科領域癌の診断のもと、「泌尿器腫瘍の遺伝情報解析に関する研究」に協力をお願いした際に同意をいただいた患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、多くの方々の協力を得て、腫瘍の発生や進展に影響を与える遺伝子のがかりを探すものです。この結果、なんらかのきっかけが見いだされたとしても、その意義をあきらかにし、実際に応用するには、さらに多くの研究が必要です。したがって、すぐに個人の病気の治療などに役に立つ結果が出る可能性はほとんどありませんが、希望があれば解析結果をお知らせいたします。解析結果保持期間内に申し出てください。それ以後はその結果を保管できない場合があります。

本研究に関するご質問等がありましたらご本人、または代理人の方が下記の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

7, お問い合わせ先

事務局 徳島大学医歯薬学研究部泌尿器科学分野

研究責任者 古川順也

当院研究責任者 中西良一

お問い合わせ先 088-631-7151